

〔Daily 日本史〕 ～古代・中世～

【問】 2003 年 関西大学 経済デイトタイム・フレックス

次の(A)・(B)の各文の(1)～(10)について、{(ア)～(ウ)}の語句の中から最も適当なものを選び、その記号をマークしなさい。

(A) 7世紀から8世紀にかけて、中国では唐が律令国家として繁栄し、東アジア諸国は外交使節団を派遣して唐と交流した。日本も遣唐使を派遣し、先進的な文化の吸収に努めた。

630年に最初の遣唐使として(1) {(ア) 小野妹子 (イ) 犬上御田鍬 (ウ) 物部尾輿}が派遣されて以来、894年に(2) {(ア) 藤原伊周 (イ) 菅原道真 (ウ) 伴 健岑}の建議によって停止されるまで、約20回の任命があった。

そのうち十数回は実際に渡海し、唐の首都(3) {(ア) 長 安 (イ) 大 都 (ウ) 開 封}をめざした。

遣唐使の一行は大使・副使・判官・録事などからなり、多くの学問僧や留学生が随行した。

学問僧としては、道昭・道慈らのほか、717年に入唐し、帰国後橘諸兄のもとで権力をふるった法相宗の僧(4) {(ア) 玄 昉 (イ) 良 弁 (ウ) 道 鏡}の名がよく知られている。

また、留学生には(4)とともに唐に渡った吉備真備や、入唐後に朝衡と改名し王維・李白らと交流した(5) {(ア) 南淵請安 (イ) 小野 篁 (ウ) 阿倍仲麻呂}などがある。(5)は藤原清河らと鑑真の日本への渡航に尽力し、自らも帰国を試みたがはたせず、その後も玄宗皇帝に仕えて唐で没した。「天の原 ふりさけみれば春日なる 三笠の山にいでし月かも」は、異国の地で生涯をおえた(5)の望郷の歌である。

(B) 1392年に南北朝の合体を実現させ、武家の全国的な統一政権を樹立した(6) {(ア) 足利義満 (イ) 足利尊氏 (ウ) 足利義量}は、明と国交を開き、明の皇帝に従属する朝貢形式で貿易を始めた。明は外国船の管理に勘合(割符)を用いており、日本に対してもこれを適用した。勘合貿易は4代将軍足利義持によって中断されたが、6代将軍(7) {(ア) 足利義教 (イ) 足利直義 (ウ) 足利基氏}が再開した。

しかし、(7)は1441年、彼の守護大名抑圧策に身の危険を感じた(8) {(ア) 富樫政親 (イ) 斯波義廉 (ウ) 赤松満祐}に謀殺された。

その後、幕府政治の衰退にともなって勘合貿易は堺商人和結んだ細川氏や、博多商人和結んだ大内氏に実権が移った。

両者は貿易の主導権をめぐるはげしく争い、1523年の(9) {(ア) 明徳の乱 (イ) 寧波の乱 (ウ) 応永の乱}に勝利した大内氏が貿易を独占するようになったが、大内氏が滅亡した後は衰退した。

一方、14世紀ごろから沖縄では北山・中山・南山の3王国が争っていたが、15世紀の前半に中山王の(10) {(ア) 蔡 温 (イ) 尚 巴志 (ウ) 尚 泰久}がこれを統一して、琉球王国を建てた。琉球王国は、海外との貿易をさかんに行い、琉球船は明・日本・朝鮮、さらに東南アジア諸国間との中継貿易を展開した。

【解答】

- | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| (1) | (イ) | (2) | (イ) | (3) | (ア) | (4) | (ア) | (5) | (ウ) |
| (6) | (ア) | (7) | (ア) | (8) | (ウ) | (9) | (イ) | (10) | (イ) |